

「県内の障害児通所支援におけるアンケート調査の結果報告」

(1) 筆頭演者, 共同発表者, フリガナ, 所属機関, 職種

1) 日高美友 (ヒダカミユ) (OT)

学校法人 宮崎南学園 宮崎保健福祉専門学校

2) 宮崎県作業療法士会 制度対策部員

3) 清武昌光 (キヨタケマサミツ) (OT)

学校法人 宮崎南学園 宮崎保健福祉専門学校

(2) 発表形式

一般演題 (口述)

(3) 郵便番号, 連絡先住所

〒889-1601

宮崎市清武町木原 5706 番地 宮崎保健福祉専門学校

(4) 電話番号およびファックス番号

電話 : 0985-85-8551

FAX : 0985-85-8560

(5) メールアドレス

meiyourigao03@gmail.com

## 県内の障害児通所支援におけるアンケート調査の結果報告

日高美友<sup>1)</sup> (OT) 宮崎作業療法県士会 制度対策部員 清武昌光<sup>2)</sup> (OT)

1)2)学校法人宮崎南学園 宮崎保健福祉専門学校

Key words : 発達障害, 地域支援, 発達支援

### 【はじめに】

宮崎県内では令和 2 年度時点で放課後等デイサービス 153 施設, 児童発達支援事業所 59 施設, 保育所等訪問 35 施設と障害児支援の事業所数や利用者数は毎年増加している現状があり, 近年, 発達過程作業療法の実践の場は多様化している. 令和 3 年の 4 月に行われた報酬改定では基本報酬の見直しや様々な加算の追加・廃止が設けられ, その中でも, ①専門職を加配して行う支援を評価する「専門的支援加算」②重度および行動上のケアニーズの高い児童への支援についての「個別サポート加算Ⅰ」③虐待等の要保護児童等について支援することを評価する「個別サポート加算Ⅱ」などがあり, より専門的な治療・支援にて全体的な質の向上を目指す他, 連携や家族支援が難しい児に対する支援を行う事業所を報酬上評価するための加算が創設されたという経緯がある. そこで, 報酬改定後の各事業所の実態を調査し県士会員に情報の共有を図ること, また発達障害領域 OT に地域通所支援の必要性や現状を把握してもらうことを目的としてアンケート調査を実施したため結果と考察を加え報告する.

### 【対象・方法】

宮崎県内 173 施設 (放デイ・児発・保育所等訪問) にアンケート資料を送付し, 回収方法は FAX・web 入力の形式とする. 回答期間は 2021 年 10 月 4 日～21 日とする.

### 【結果】

173 施設中 54 施設からの返答 (2021 年 10 月 23 日時点) があり, 勤務しているセラピスト数は非常勤も含め OT28 名, PT20 名, ST16 名であった. ①報酬改定後では, OT3 名, PT4 名, ST3 名が追加配置されている. ②個別サポート加算Ⅰを算定しているのは 47 施設, ③個別サポート加算Ⅱを算定できているのは 2 施設のみ, 「①②どちらとも算定できていない」が 8 施設であった. また, 専門職 (OT・PT・ST) が勤務している施設では, ビジョントレーニングや運動療育など心身状況に合わせて様々な体験活動ができるといった特色豊かな結果がみられた.

### 【考察】

通所支援事業所が乱立する中, 報酬改定も含めこれまで以上に療育の質が問われる時代となってきた. 活躍できる専門職の中で OT が一番必要とされている現状がある反面, 質の向上を図る目的で専門職を雇用したいが人件費の面で厳しい状況にある施設も多い. また, ③要保護加算のような虐待をしている保護者に虐待の事実を認めてもらって初めて始まる支援などは保護者への説明や児相との連携など信頼関係や支援に影響を及ぼす可能性があるため算定できていない施設が多い. 我々発達分野の OT はこういった地域の現状を把握する必要があると強く感じた. また, 教育カリキュラムの変更に伴い「地域作業療法学」では発達障害分野の「地域支援」に関しても手厚く更新されている. 先輩が現場にいないという理由で新卒から通所支援に就職できていなかった今までの現状を変えるべく, 制度対策部員として情報収集の幅を構築し, 学生教育・制度対策活動の質の向上に真摯に取り組みたい.